

日時 平成27年8月9日
午後2時～4時
場所 宇波公民館



宇	波	地	区	
ま	ち	づ	く	り
ふ	れ	あ	い	
ト	ー	ク		

コンビニ交付の実施に向けて



コンビニ交付サービスの検討に至った背景

- 平成27年度中に交付機とサーバーの更新が必要となる
- 住民ニーズの高まり
 - ・サービス拠点拡大の要望
- 行政サービスに対するニーズの多様化
 - ・銀行ATMの夜間休日利用、コンビニATMの定着
- 行政手続きの簡素化
 - ・申請手続きの簡素化への要望



コンビニ交付サービス実施による課題解決

導入効果① 発行拠点数の拡大

コンビニ交付サービスの最大の特徴は、
証明書交付拠点数が格段にふえます。



全国約46,000店舗



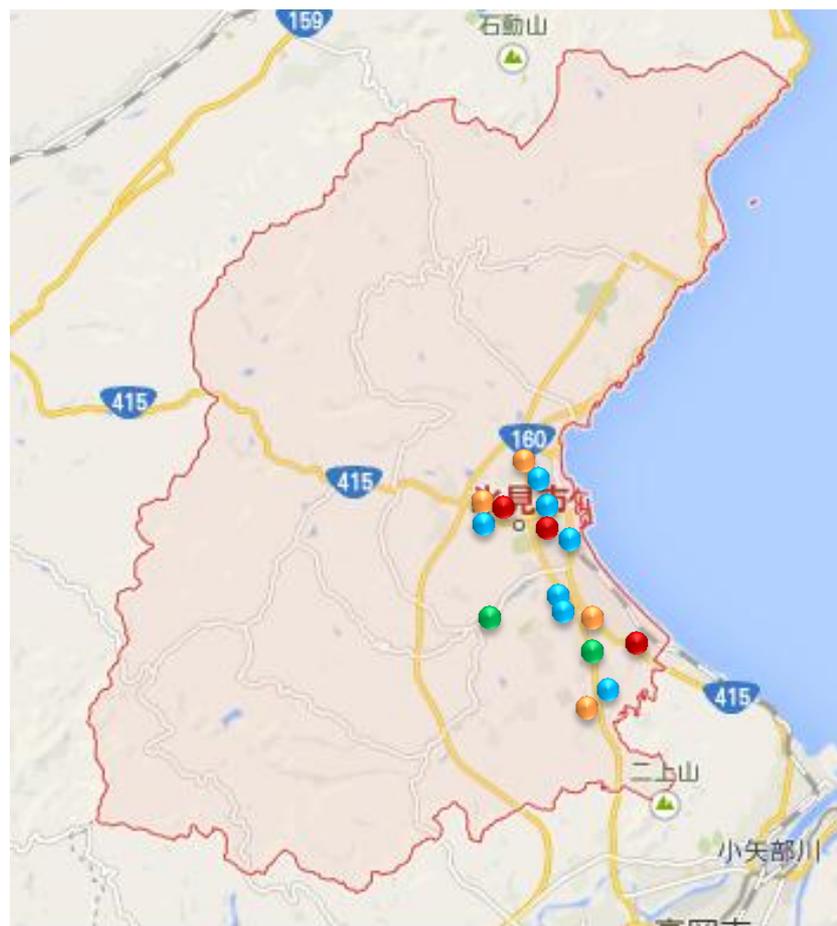
北陸三県約1,300店舗



富山県内約460店舗

導入効果① 発行拠点数の拡大

氷見市内のコンビニは合計16店舗
証明書を取得できる場所が大幅に拡大



- セブンイレブン (4店舗)
- ローソン (7店舗)
- ファミリーマート (2店舗)
- サークルKサンクス (3店舗)

導入効果② サービス提供時間の拡大

コンビニ交付サービス実施により
さらに提供時間を拡大します。

現在の氷見市証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
証明書自動交付機	09:00-19:00	08:30-17:00

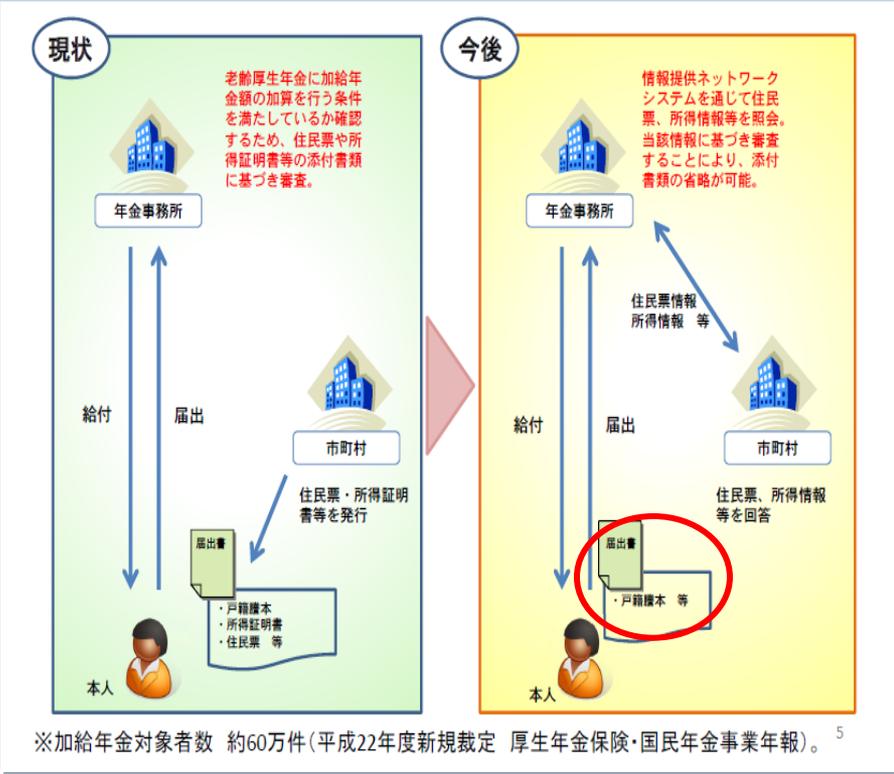
コンビニ交付サービス導入後の証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
全国各コンビニ店舗	06:30-23:00	06:30-23:00

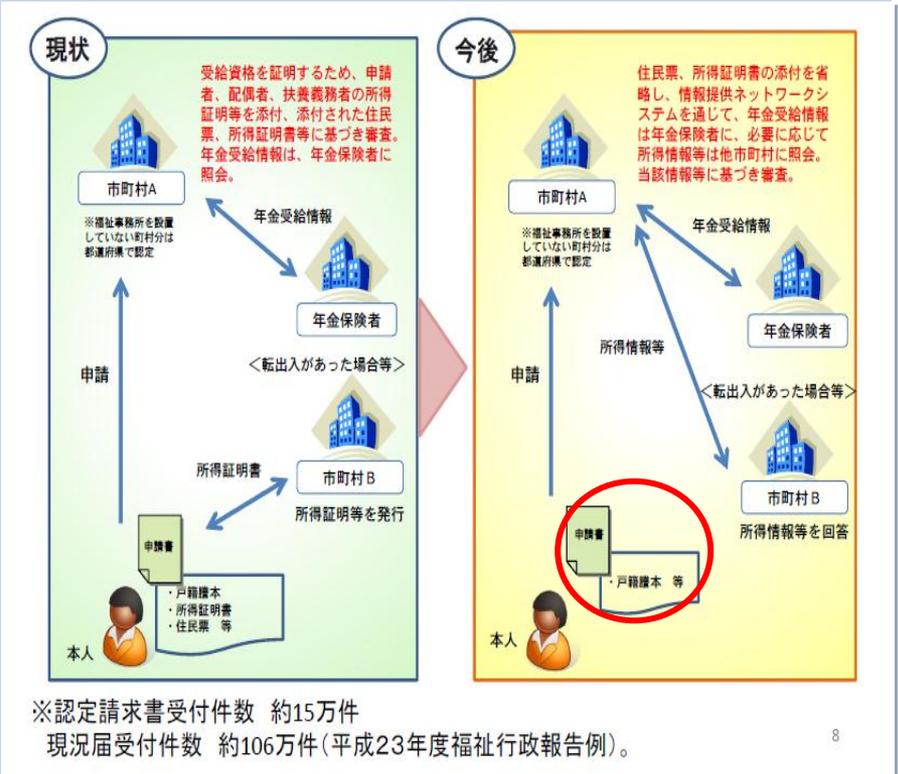
導入効果③ 戸籍証明書の対応

将来的には住民の証明書取得の機会は減るが、印鑑証明や戸籍証明は必要

高齢厚生年金の加給年金額の加算に関する手続



児童扶養手当の認定申請



- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

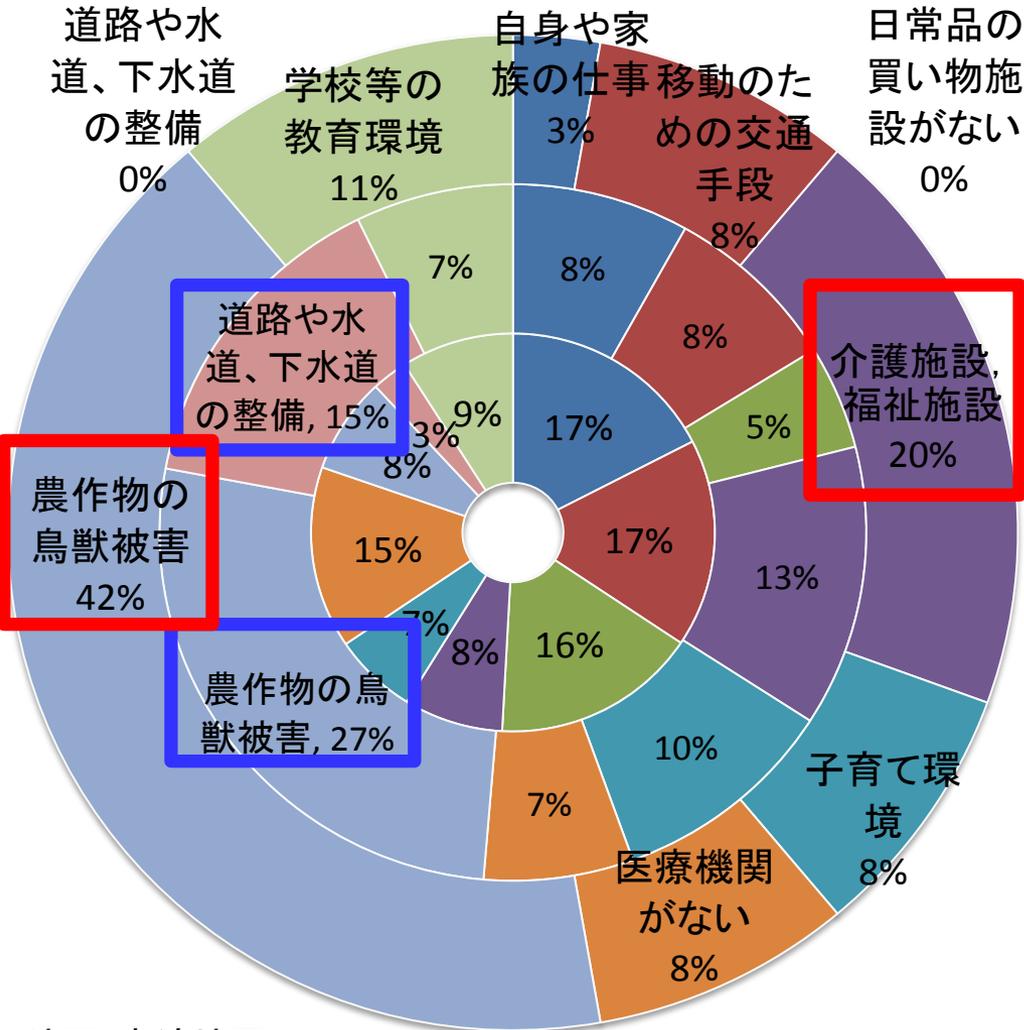
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室 地域防災室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
まちづくり推進部	荒井 市郎	都市計画・まちのグランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室 魚々座・漁業文化推進室
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
地域担当職員	荻野 直樹	(所属) 地方創生と自治への未来対話推進課
地域担当職員	杉本 聡	(所属) 商工観光・マーケティング・おもてなし・ブランド課

昨年のふれあいトーク報告

困り事 日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？

関心事 ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？



福祉関係

人口減少、小学校・保育園の減少など

外円:宇波地区
中円:氷見市全体
内円:全国農漁村調査結果

対応済

- 505-大境休憩所にテレビ(25/2014)
- 508-老後の暮らし
- 510-虫の大量発生(継続)
- 518-イノシシ被害(継続)
- 519-宇波漁港内の網撤去(継続)
- 25/1063-朝日社叢の対策(継続)

27年度内

- 503-灘浦中の避難所鍵の管理
- 504-公共交通での移動(継続)
- 515-CCZに外国人向け看板
- 25/1064-戸津宮の防火水槽

可能

28年度以降

- 506-九殿浜トイレの案内板
- 514-小境地区の急傾斜地対策
- 520-灘浦中統合に不安

未定

- 501-30~40代が帰ってくる政策
- 502-地域愛を育てる活動支援
- 509-国道160号カーブの水銀灯
- 511-宇波川両サイドにガードレール
- 512/513-宇波2区,3区側溝の整備
- 516-ため池の改修
- 517-ため池崖崩れの災害認定

参考意見

H27年6月25日納入 購入費71,000円



今年度の対策

○ハード

電気柵、ワイヤーメッシュによる侵入防止総延長 約400km
捕獲檻17基増設予定 総数109基

○ソフト（環境づくり）

エサや隠れ場所対策等の周知用チラシ、パトロール強化

捕獲数

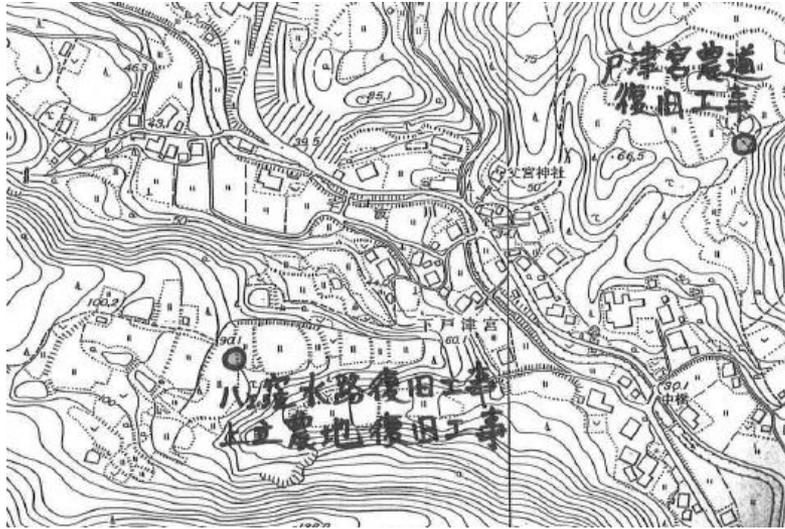
○**210頭**（8/7現在、同時期95頭） 昨年412頭

いのしし等鳥獣対策課 30-7088

宇波地区の事業概要

実施年度	工事名	工事場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または 予算額
H27	平成26年災 八ヶ窪水路(外3箇所) 復旧工事	戸津宮・長坂	H27.4.20	H27.10.30	2,413,800
H27	戸津宮地区治山工事 (県単治山事業)	戸津宮	10月予定		5,000,000
				H27計	7,413,800

八ヶ窪水路(外3箇所)復旧工事



戸津宮地区治山工事



実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	NPOバス運営推進事業	NPO過疎地バス路線支援事業費補助金(灘浦地区)	2,000,000	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課	
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施(10月2日大境洞窟)	5,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(7月13日体力測定、家庭でできる健康体操)	5,000	健康課	
H27	健康づくり料理教室	食生活改善推進員から一般住民へ生活習慣病予防の食事についての講習会を開催する(11月29日)	4,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(6月15日、7月6日)	4,200	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(9月28日)	3,000	健康課-健康づくりボランティア連絡協議会	
H27	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう(7月~9月)	2,000	健康課-健康づくりボランティア連絡協議会	
H27	子育て広場	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(8月26日)	2,000	健康課	
H27	らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食習慣の改善を図る(10月8日)	7,000	健康課	
H27	市単土地改良事業費補助金	土地改良支援事業〔五十谷〕 農道舗装	100,000	建設課	
H27	市単土地改良事業費補助金	土地改良支援事業〔五十谷〕 排水路改良	100,000	建設課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	道路の原材料支給事業	五十谷 簡易舗装材20m3	194,400	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	戸津宮 簡易舗装材20m3	194,400	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	大窪 簡易舗装材20m3	194,400	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	白川 砕石 20t	4,320	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	宇波 砕石 8t	1,728	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	五十谷 山砂20t	21,600	建設課	
H27	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修)、営農活動(農業機械購入等)への支援 白川(1,528,648)、五十谷(1,053,528)、戸津宮(2,171,623)	4,753,799	農林畜産課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等)、農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援 宇波(1,378,160)、白川(960,652)、五十谷(292,050)	2,630,862	農林畜産課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	環境保全型農業直接支払	環境保全に効果の高い営農活動への支援、(化学肥料・農薬の5割低減+冬期湛水)五十谷(394,400)	394,400	農林畜産課	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 戸津宮 2件	77,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 宇波 1件	56,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	防火水槽新設事業	上戸津宮地内に耐震性防火水槽を新設(12月予定)	8,424,000	消防本部警防課	
		H27計	19,179,109		

質疑応答

【大境】

- 九殿浜遊園地に氷見市政25周年時に建立した野口雨情の石碑があります。当石碑を見にお越しになるお客様が多くいらっしゃいますが、位置が分かりにくいので、回りの樹木の剪定等をお願いしたい。

【回答】

「春が来たやら有磯の海も けさは沖から花ぐもり」
灘浦地区の会「とべら会」において建立された石碑であり、多くの来訪者に関心を持っていただき感謝申し上げます。来訪者がその位置が分かりやすくなるよう、剪定等を行います。

九殿浜遊園地



【白川】

○ 仲直池の修理

【回答】

仲直池につきましては、先日（6月12日）、地元の案内で菅沢県議、高岡農林振興センター（計画班）、氷見市土地改良区と共に、現地確認をおこないました。

斜樋が破損し、水位調整が出来ない状況であり、より詳細に状態を把握するために、まず、ため池の水位を下げる対応を地元でお願いしております。

市といたしましては、これに対して「市単土地改良事業補助金」制度を活用していただければと考えております。

また、「仲直池」の今後の有り方などについて、地元で話をしていただき、その上で、池の修理・改修について、関係機関と協議していきたいと考えています。

【白川】

○ 市道向出線整備

【回答】

現地を確認したところ、幅員が狭く、路肩も一部欠損している箇所がありました。危険な箇所については、早速スノーポールを設置し、脱輪等がないよう注意喚起を行います。

道路改良については、安全な通行を確保できるよう地域支援事業も含めて地域の方とお話させていただきたいと考えております。



地方創生について

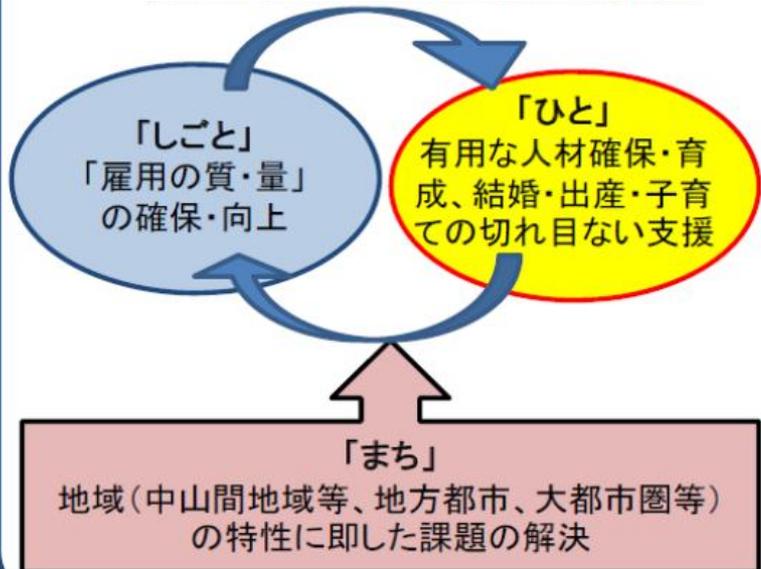
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「パラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性 ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」:人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」:人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

＜地方人口ビジョン＞

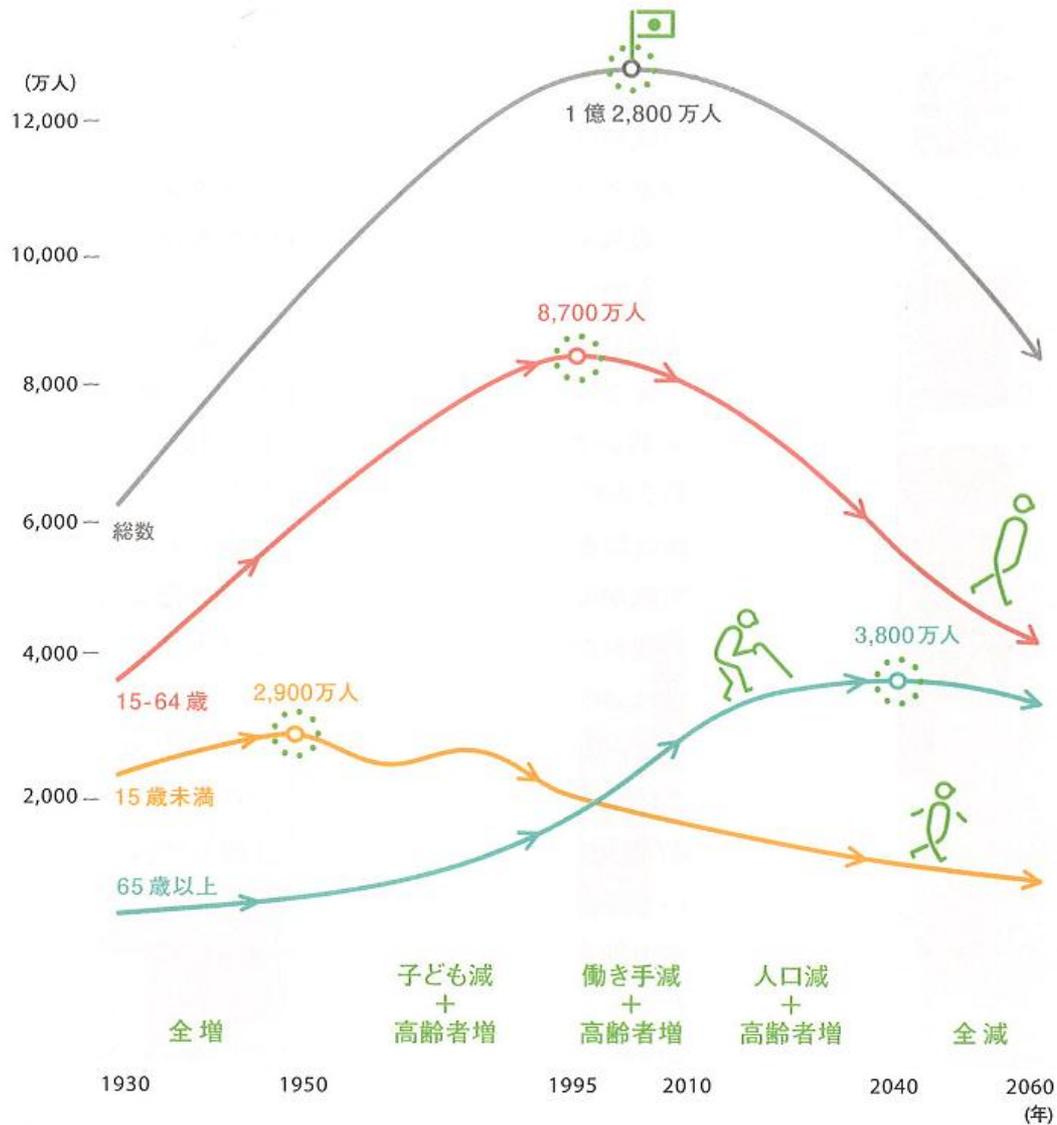
- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

＜地方版総合戦略＞

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

○各分野の施策

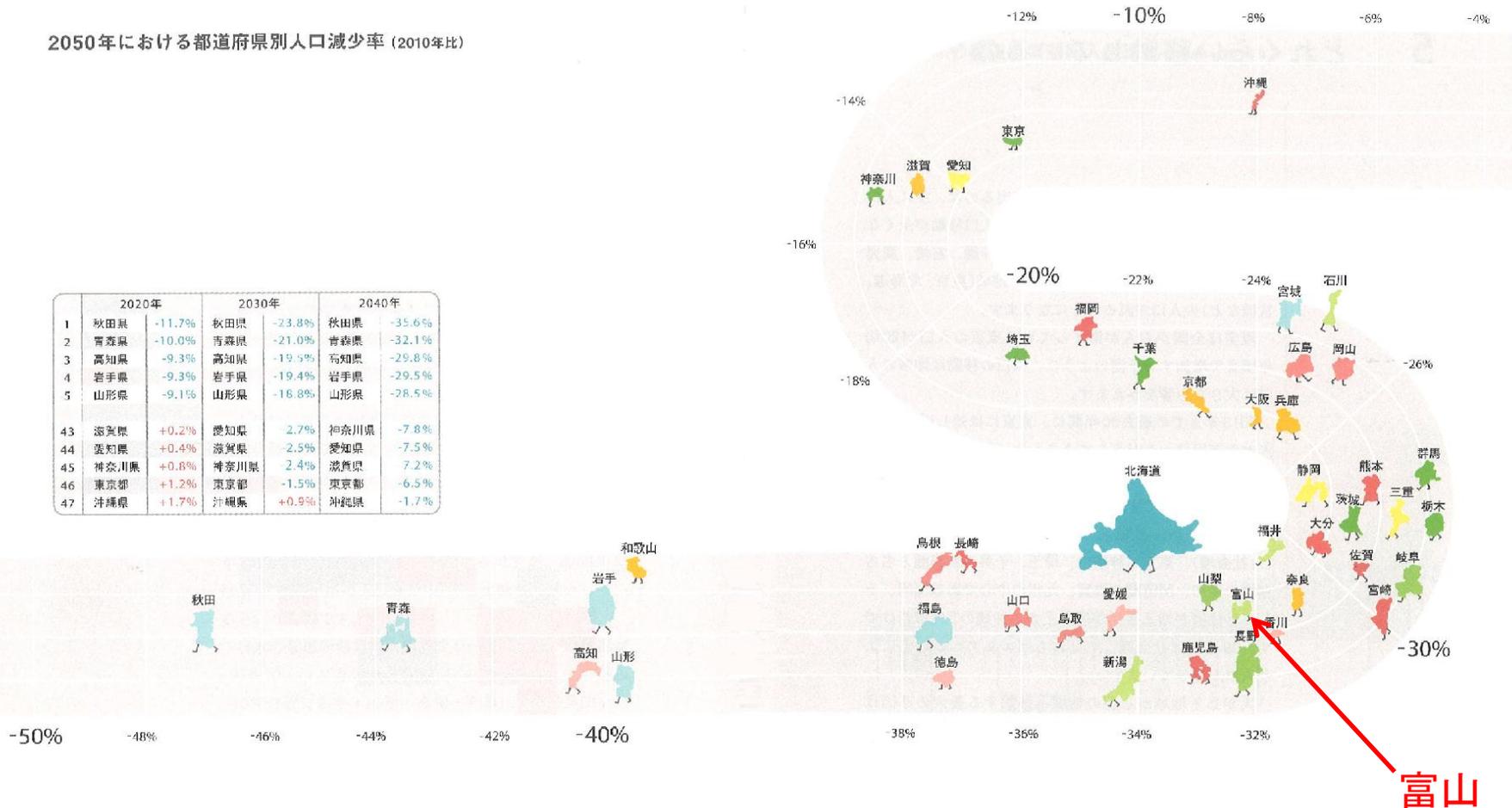
3区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



出典：人口減少×デザイン 著 筧 裕介

2050年における都道府県別人口減少率（2010年比）

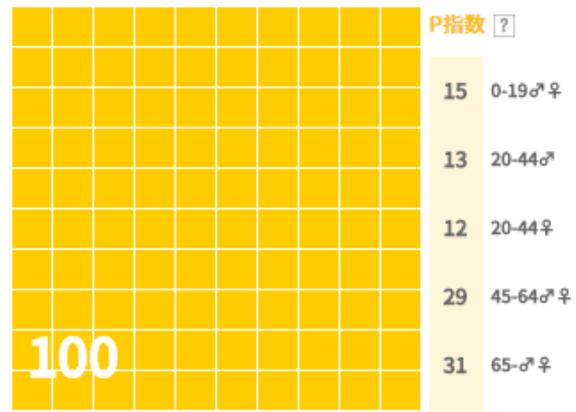
	2020年		2030年		2040年	
1	秋田県	-11.7%	秋田県	-23.8%	秋田県	-35.0%
2	青森県	-10.0%	青森県	-21.0%	青森県	-32.1%
3	高知県	-9.3%	高知県	-19.5%	高知県	-29.8%
4	岩手県	-9.3%	岩手県	-19.4%	岩手県	-29.5%
5	山形県	-9.1%	山形県	-18.8%	山形県	-28.5%
43	滋賀県	+0.2%	徳島県	2.7%	神奈川県	-7.8%
44	愛知県	+0.4%	滋賀県	-2.5%	愛知県	-7.5%
45	神奈川県	+0.8%	神奈川県	2.4%	滋賀県	7.2%
46	東京都	+1.2%	東京都	-1.5%	東京都	-6.5%
47	沖縄県	+1.7%	沖縄県	+0.9%	沖縄県	-1.7%



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



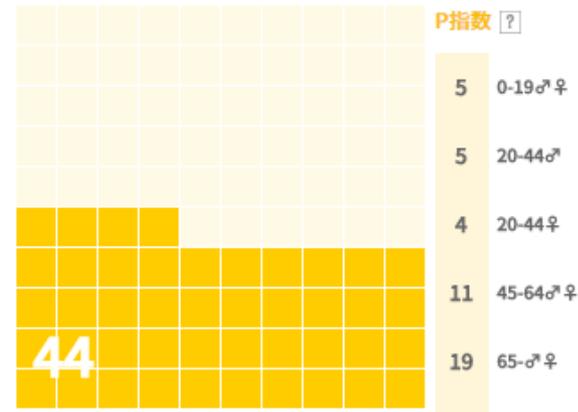
合計 約51,000人

+

なんの対策も
行わない

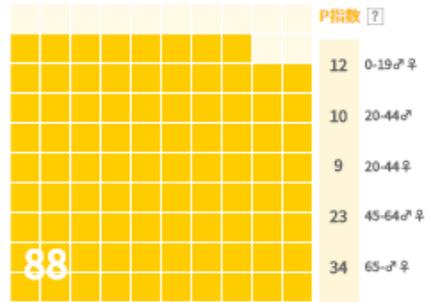
=

2060



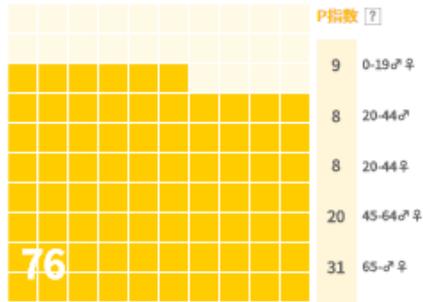
合計 約23,000人

2020



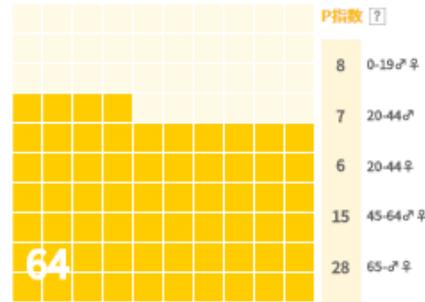
合計 約45,000人

2030



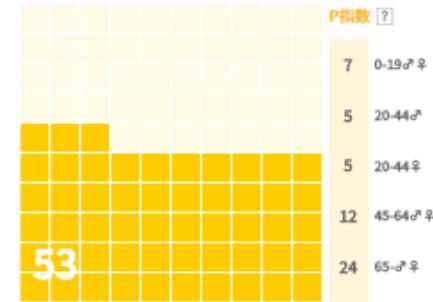
合計 約39,000人

2040



合計 約33,000人

2050

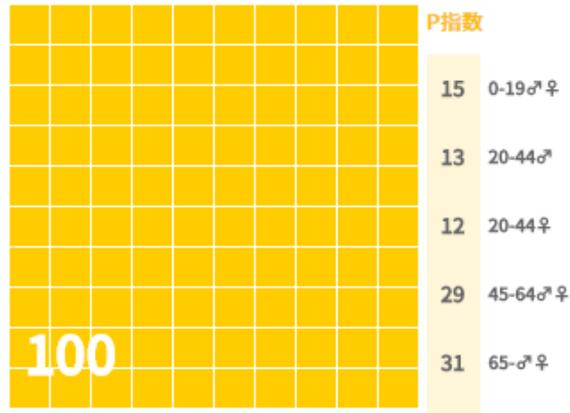


合計 約27,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



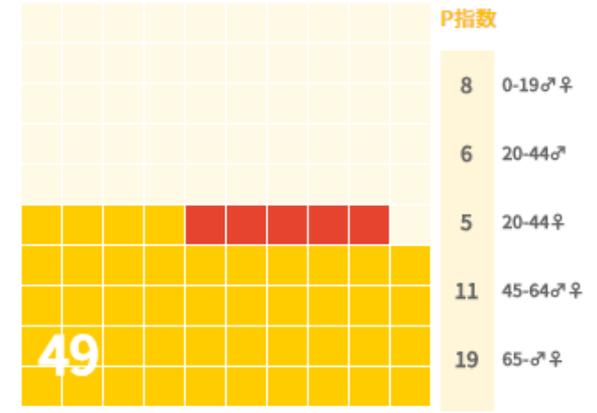
合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**



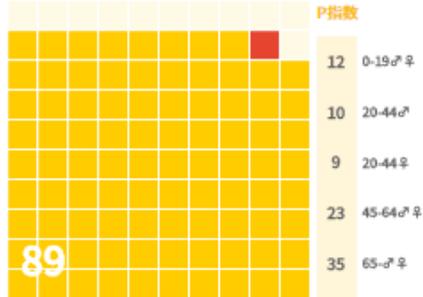
2060



合計 約23,000人 → 25,000人

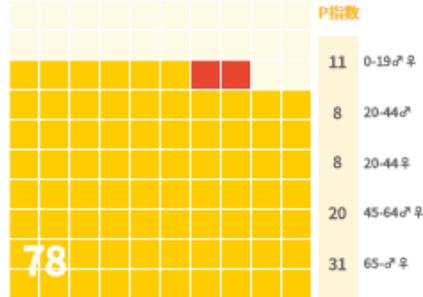
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



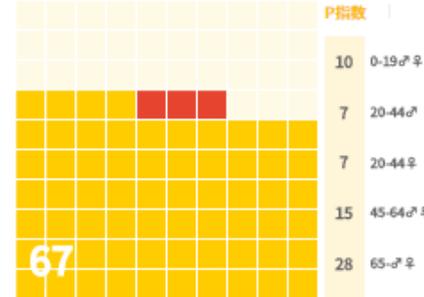
合計 約45,000人 → 45,000人

2030



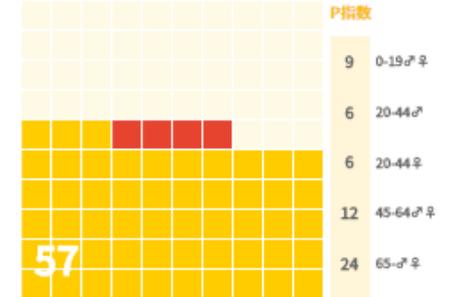
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



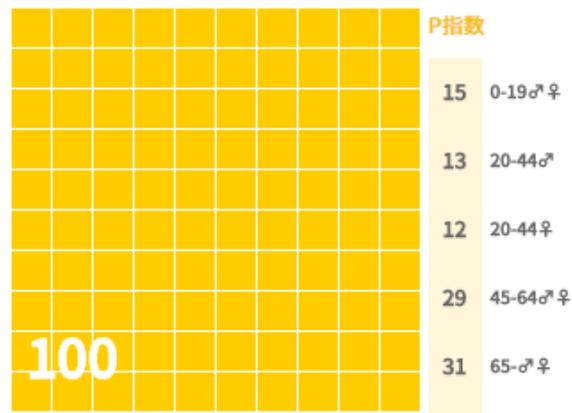
合計 約33,000人 → 34,000人

2050



合計 約27,000人 → 29,000人

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数 (年間)

102人増やす

増やす

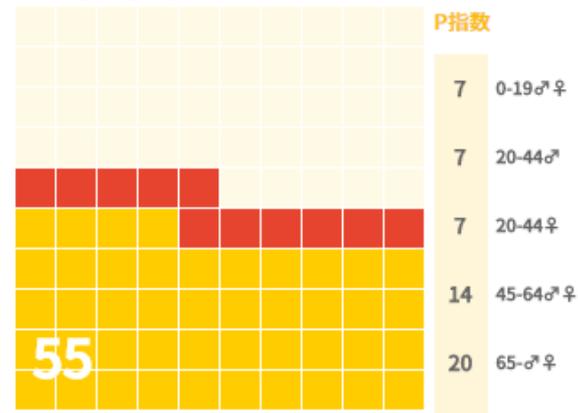
転出者数 (年間) を

0人

減らす



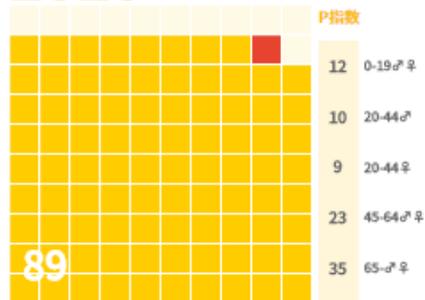
2060



合計 約23,000人 → 28,000人

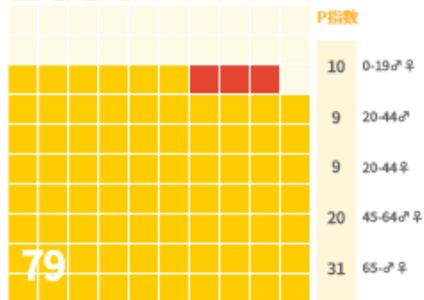
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37のまま
転入者数(20-49歳)613人→715に増やす
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



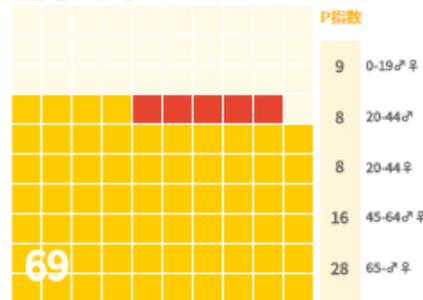
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



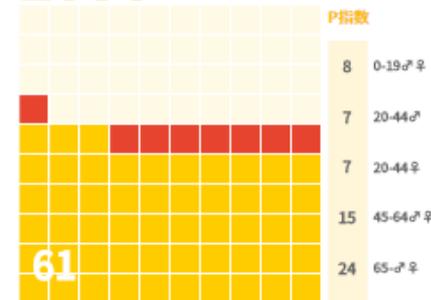
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 36,000人

2050

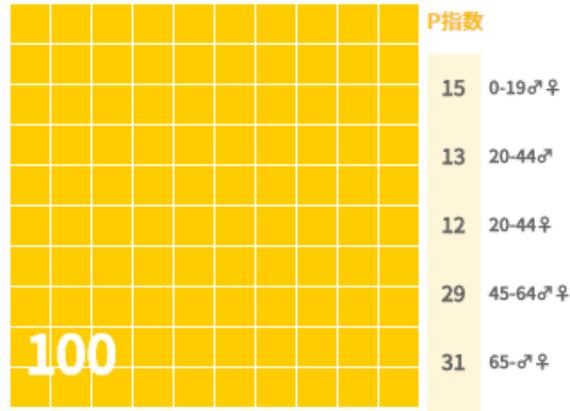


合計 約27,000人 → 31,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37



にする

転入者数(年間)を

0人



増やす



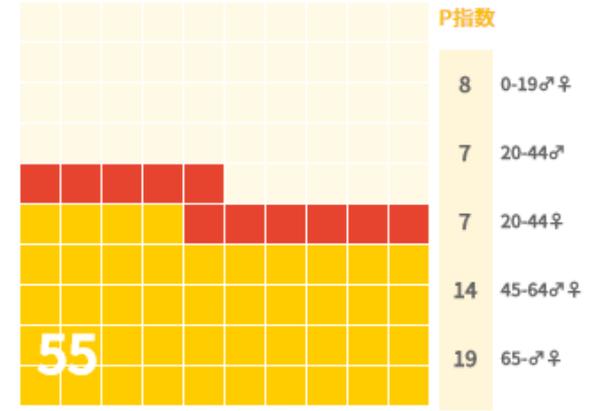
転出者数(年間)

100人減らす

減らす



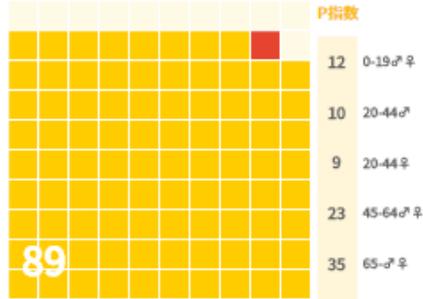
2060



合計約23,000人 → 28,000人

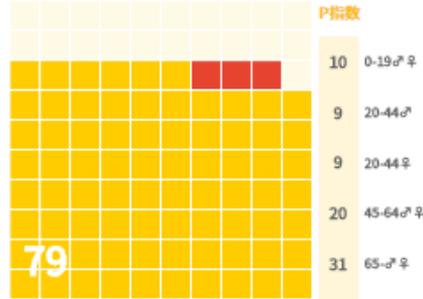
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から1.80へ
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人 → **325人まで減らす**

2020



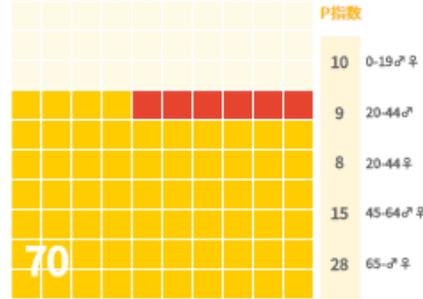
合計約45,000人 → 46,000人

2030



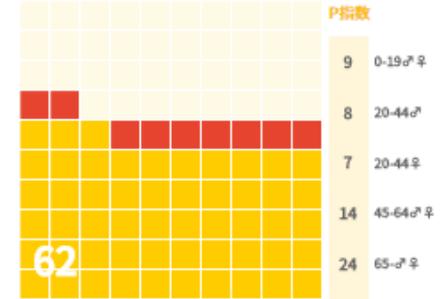
合計約39,000人 → 40,000人

2040



合計約33,000人 → 36,000人

2050

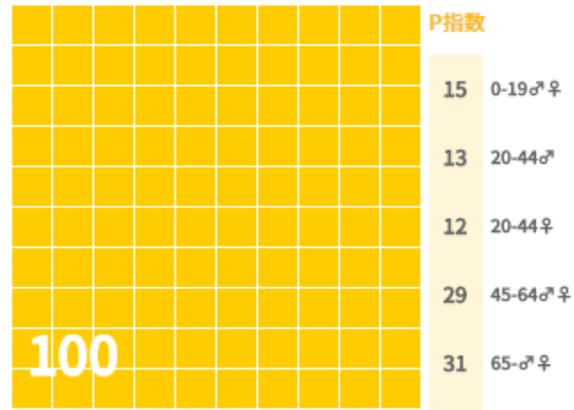


合計約27,000人 → 32,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**

にする

転入者数（年間）
102人増やす

増やす

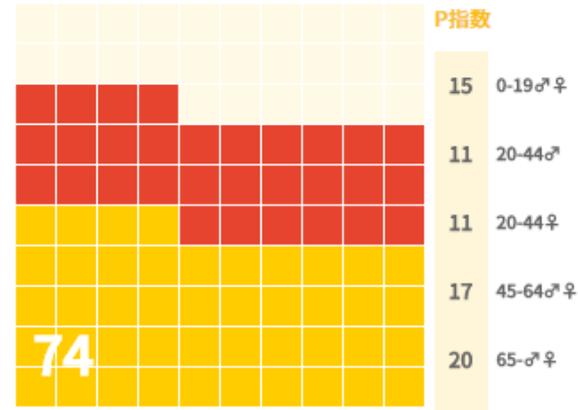
転出者数（年間）
100人減らす

減らす

+

=

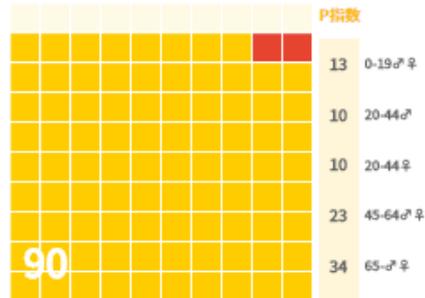
2060



合計約23,000人 → 38,000人

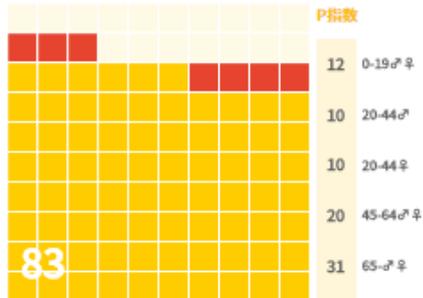
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数（20-49歳）**613人→715に増やす**
転出者数（15-24歳）**425人→325人まで減らす**

2020



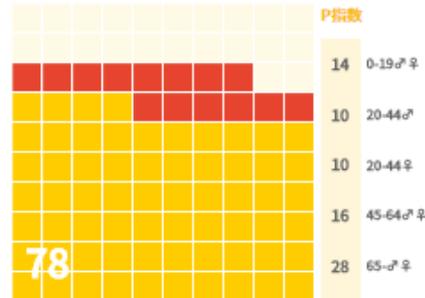
合計約45,000人 → 46,000人

2030



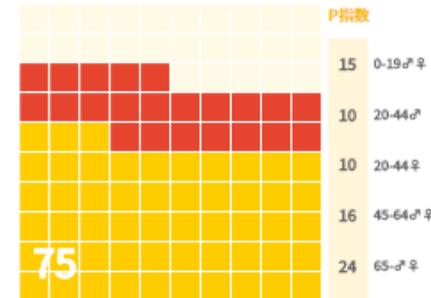
合計約39,000人 → 42,000人

2040



合計約33,000人 → 40,000人

2050

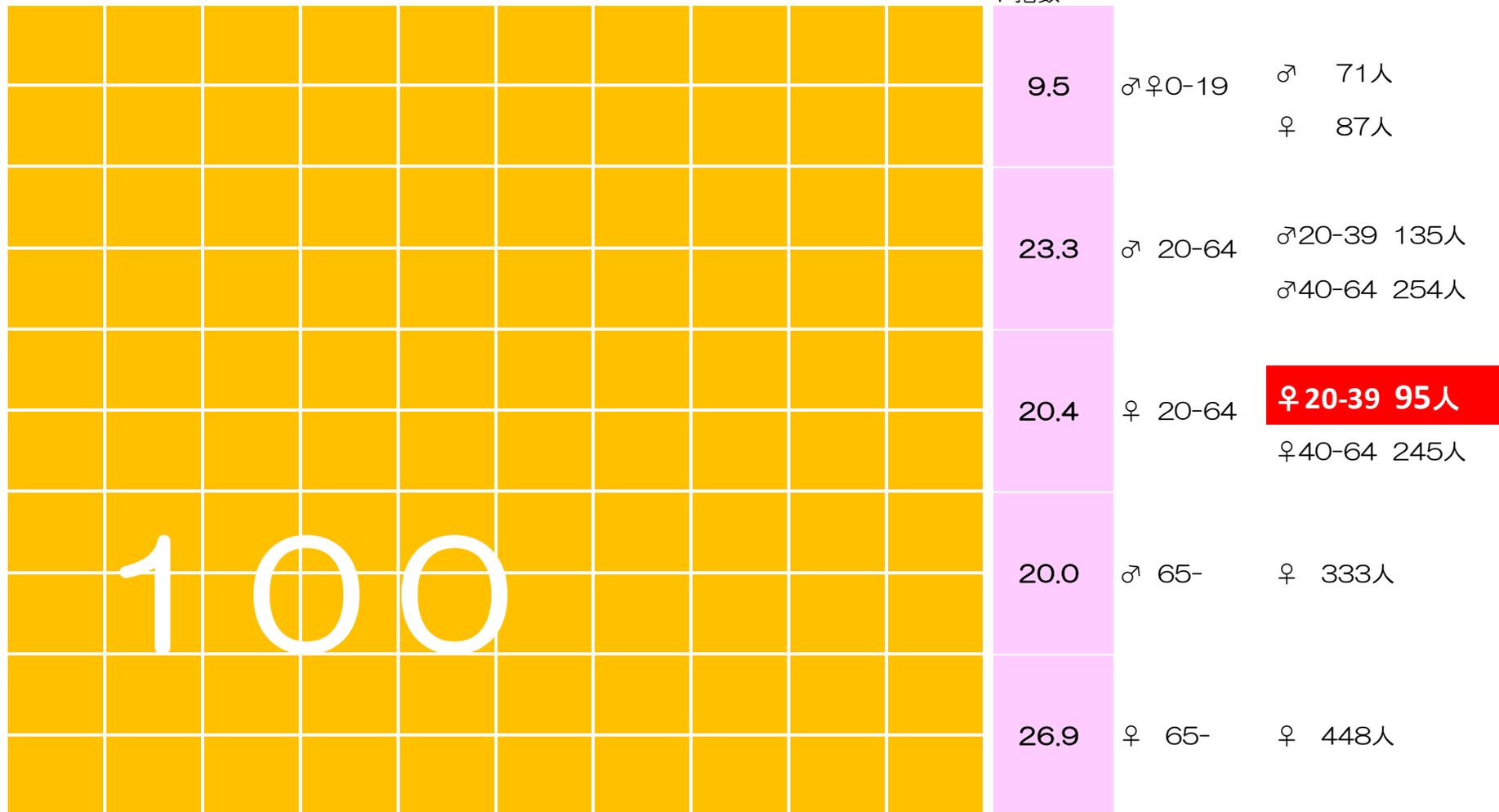


合計約27,000人 → 38,000人

2010

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

P指数

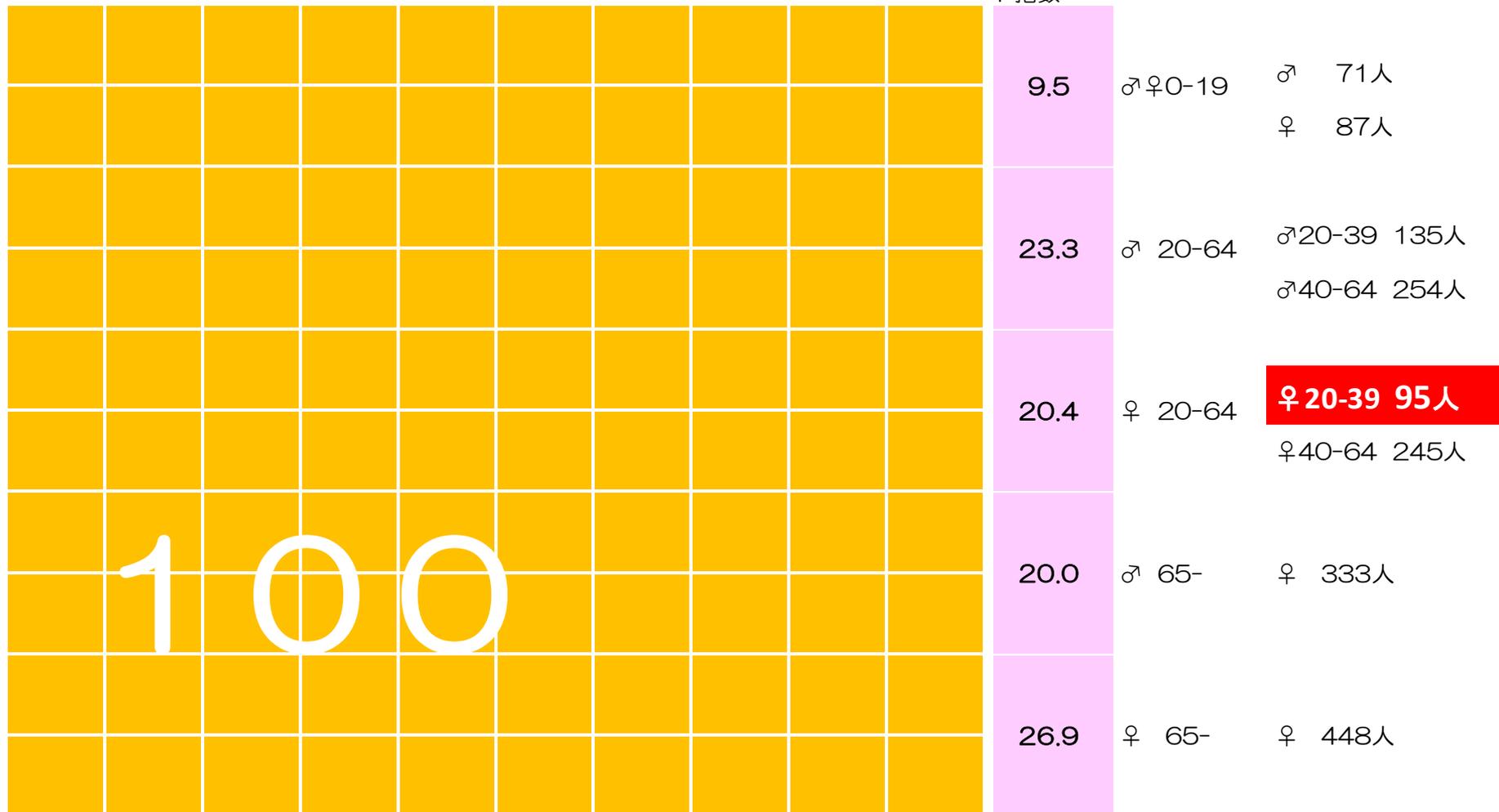


宇波地区 人口1,668人

2010

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

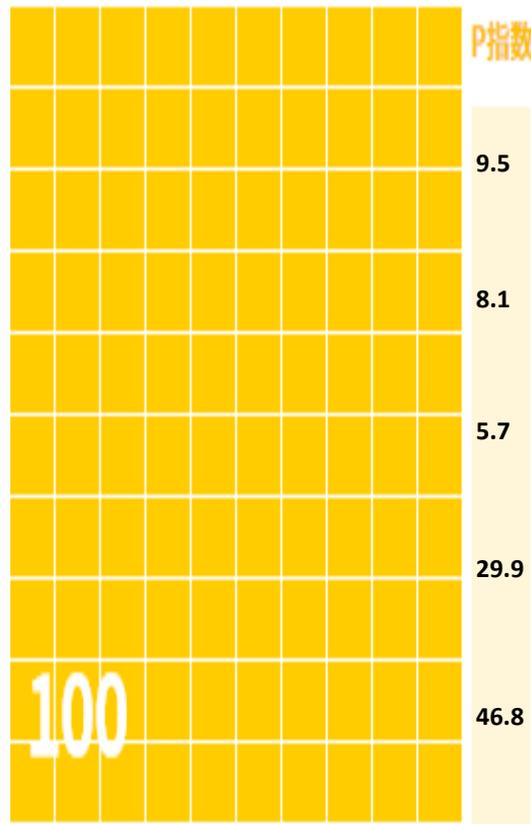
P指数



宇波地区 人口1,668人

宇波 地区 人口 1, 6 6 8 人

2010



P指数

9.5 0-19 ♂ ♀
 8.1 20-39 ♂
 5.7 20-39 ♀
 29.9 40-64 ♂ ♀
 46.8 65- ♂ ♀

+

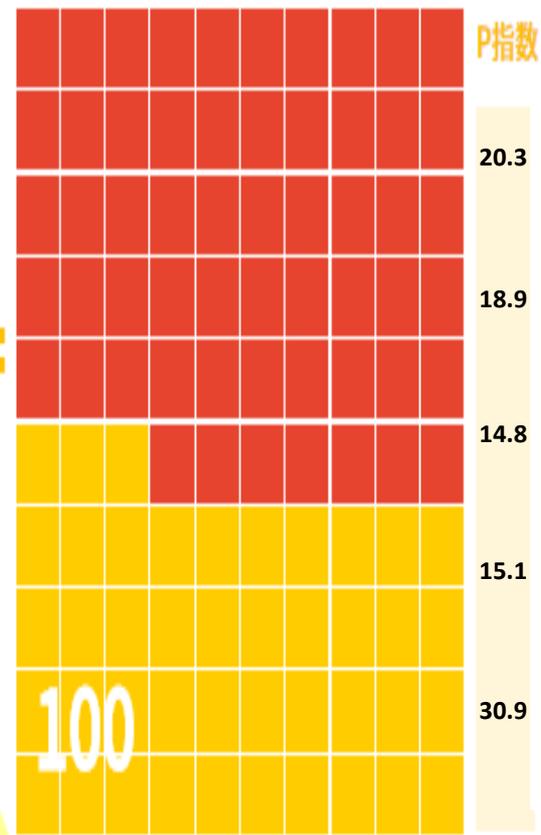
合計特殊出生率
2.1 とする

年間転入者数(20-49歳)
5.9 人増やす

年間転出者数(15-24歳)
5.9 人減らす

=

2060



P指数

20.3 0-19 ♂ ♀
 18.9 20-39 ♂
 14.8 20-39 ♀
 15.1 40-64 ♂ ♀
 30.9 65- ♂ ♀

宇波 地区 人口 1, 6 6 8 人

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1. **宇波**地区へ、20～49歳の転入者を毎年5.9人増やすために、どんなことをすればよいでしょうか。

Q 2. **宇波**地区から、15～24歳の転出者を毎年5.9人減らすために、どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

宇波地区代表